

29年5月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査1

1. 調査実施期間 平成29年 5月1日～ 29年5月10日

2. 調査実施方法

全国の構造用集成材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
5月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) ラミナ荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/5月	6月	7月
入荷動向	国産材	0.0	0.0	0.0
	外材	△ 10.0	△ 20.0	△ 20.0
在庫動向	国産材	0.0	0.0	0.0
	外材	△ 10.0	△ 30.0	△ 20.0

・国産材ラミナの入荷は3カ月連続の横ばい。外材は3カ月連続の減少。

・国産材ラミナの在庫は3カ月連続の横ばい。外材は3カ月連続の減少。

(2) ラミナ購入価格動向 Weight. D. I.

品目	29/5月	6月	7月
国産材	0.0	0.0	0.0
欧州材	50.0	37.5	37.5
その他	75.0	50.0	50.0

・国産材ラミナの入荷価格は3カ月連続の保合い。欧州材及びその他は強含みで推移。

モニターからのコメント

(ラミナ荷動き)

・入荷動向は、スギ、カラマツともに発注量を確保できそうな状況。在庫動向は、仕事量によりスギ、カラマツのバランスが変動することはあるが、全体的なボリュームは一定量をキープしている(東北)。

・国産材の入荷は、外部ラミナ製造の協力工場に可能な限りの最大発注を掛けているが、数量は増えず横ばい見通し。外部ラミナの協力工場が言うには「ラミナ製材の適寸丸太が少ない」、「ラミナ以外の高付加価値製品の生産に忙しい」などがその理由の様。外材の入荷は、当社においては「米ヒバ」材ということになる。北米での米ヒバ集材状況は、ようやく春先の出材見通しが立ち改善の兆しが見える。8月頃から増加が見込まれるが、それまでは数量低位で横ばい推移。国産材の在庫は、「横ばい」と言う名の「ほぼ在庫ゼロで推移。自社製材分も外部購入分も、製材(入荷)→乾燥完了次第即製品となり、ラミナ在庫は超低位で横ばい推移する見込みだ。外材の在庫は、当社の場合「米ヒバ」。こちらも横ばい、輸入材故ある程度の在庫を持ちながらのオペレーションを心がけているが、昨秋から原料入荷量少なく減少が続くも8月からはカナダからの今春出材分の原料到着し、在庫は増加に転じる見込み(四国)。

(ラミナ価格動向)

・ラミナの入荷価格はスギ・カラマツともに横ばいで推移している(東北)。
・当社の場合、ヒノキの値段が上がったから数量が集まるものでもなく、横ばいでの推移が続く。当社では取扱いがないが、一般的な同業他社の情報によれば、欧州→極東向けのコテナ不足しておりフレートが上昇、ラミナ原料価格値上げに大きく影響が出ているとのこと。米国住宅着工好調により米スギの代替材として米国向けに米ヒバが買われているため、昨秋から今春に掛けて産地バンクーバー周辺の天候が不順で、秋～春の出材が少なかったため、米ヒバ丸太が不足。よって、原木不足→ラミナ原料不足→値段大高騰となる(四国)。

29年5月分 構造用集成材工場の荷動き・価格先行き動向調査2

(3) 構造用集成材荷動き動向 Weight. D. I.

品目		29/5月	6月	7月
生産動向	国産材	14.3	14.3	21.4
	WW集成管柱	0.0	0.0	0.0
	RW集成平角	0.0	0.0	0.0
	米マツ集成平角	0.0	0.0	0.0
	WW集成平角	—	—	—
出荷動向	国産材	14.3	14.3	21.4
	WW集成管柱	0.0	△ 12.5	0.0
	RW集成平角	0.0	△ 10.0	△ 10.0
	米マツ集成平角	12.5	12.5	12.5
	WW集成平角	—	—	—

・国産材構造用集成材の生産は、3カ月連続で増加。WW集成管柱、RW集成平角及び米マツ集成平角は3カ月連続の横ばい。

・国産材構造用集成材の出荷は、3カ月連続で増加。WW集成管柱は5月の横ばいが6月減少、7月は横ばいに。RW集成平角は5月の横ばいが6月、7月は減少に。米マツ集成平角は、3カ月連続の増加。

(4) 構造用集成材出荷価格動向 Weight. D. I.

品目	29/5月	6月	7月
スギ集成管柱	8.3	16.7	16.7
ヒノキ集成柱	0.0	0.0	0.0
ヒノキ集成土台	0.0	0.0	0.0
カラマツ集成土台	0.0	12.5	12.5
WW集成管柱	37.5	25.0	37.5
RW集成平角	50.0	40.0	40.0
米マツ集成平角	12.5	0.0	0.0
WW集成平角	—	—	—
米ヒバ土台角	25.0	0.0	50.0
カラマツ集成平角	0.0	0.0	0.0

・スギ集成管柱の出荷価格は3カ月連続で強含。ヒノキ集成柱及びヒノキ集成土台は横ばいで推移。カラマツ集成土台は、5月の横ばいから6月、7月は強含みに。

・WW集成管柱、RW集成平角は3カ月連続で強含み推移。米マツ集成平角は5月強含から6月、7月保含に。米ヒバ土台角は強含み。カラマツ集成平角は保含で推移。

モニターからのコメント

(構造用集成材の荷動き)

・国産材はスギ・カラマツともに生産量は安定している。外気温の上昇と比例して、残業時間も若干減少。引き合いが強いため、毎月一定量生産しなければならず、横ばいを見込んでいる（東北）。

・生産動向については、当社においては国産構造用集成材は「ヒノキ集成材」となる。年度の端境期ではあったが、今春は例年の傾向と異なり引き合いは年度を超えても引き続き好調であり、当社も引き続き全力生産を継続するため6月までは「横ばい」。7月からは当社新工場の一部設備稼働により、若干の増産が見込まれる。当社では生産していないが、WW集成管柱及びRW集成平角は、一般的な同業他社の情報によれば、こちらも比較的受注好調で、通常以上の順調な生産が続いている。比較的受注好調で、通常以上の順調な生産が続いている。米マツ集成平角は、当社では生産していないが、増産、減産の話はあまり聞かれない、そもそも米松集成材はWWやRWと異なり、一部の高強度を求める顧客用や非住宅向けが中心、限られたマーケット故、大勢への影響は微小と考えられる。米ヒバ集成材も依然引き合い多く、納期に追われる状況。全力生産継続が続く。7月には当社新工場の設備が一部使用できるようになり、若干の増産に転じる予定。

・出荷動向については、年度の端境期に当たる時期だったが、引き合いは依然好調、製品出来上がり次第即出荷の状況が続く。7月には当社新工場の設備が一部使用できるようになり、若干の出荷増に転じる予定。WW集成管柱及びRW集成平角は、当社では生産していないが、一般的な同業他社の情報によれば、こちらも比較的受注好調で、通常以上の順調な生産が続いている。RW集成平角は、一部で値上げの話が聞かれる。米マツ集成平角は、当社では生産していないが、出荷動向増減の話はあまり聞かれない、そもそも米松集成材はWWやRWと異なり、一部の高強度を求める顧客用や非住宅向けが中心、限られたMKT故、大勢への影響は微小と考えられる。米ヒバ集成土台は、引き合い好調。当社が米ヒバ無垢製材品の製造販売を撤退したためか「どうしても米ヒバ」と言うお客様は米ヒバ集成材にシフトした気配もある。従って、出荷も継続好調にて推移、7月には当社新工場の設備が一部使用できるようになり、若干の出荷増に転じる予定。（以上、四国）

(構造用集成材の出荷価格動向)

- ・スギ集成管柱は基本的に相場が動いておらず横ばいである。カラマツ集成土台は、ラミナ価格は横ばいであるが、採算面の見通しから一部値上げ交渉をはじめている。カラマツ集成平角は、基本的に横ばいである。不採算の商品は生産量を減らすなど、収益の上がる商品（顧客）に絞りたい（東北）。
- ・スギ集成管柱；当社生産品目ではないが、数量不足、強含み傾向と聞く。欧州WW集成う管柱の入荷が増えず、強含み傾向な事に連動している模様。ヒノキ集成柱；当社では強い引き合いの下、全力生産が続く、値上げしたい所だが、当社新工場での増産を及び拡販を見込み、戦略的に価格維持している。ヒノキ集成土台；当社では強い引き合いの下、全力生産が続く、値上げしたい所だが、当社新工場での増産を及び拡販を見込み、戦略的に価格維持している。カラマツ集成土台；当社生産品目ではないが、こちらも絶対量不足気味で受注に対して供給が間に合っていないと聞く。WW集成管柱；当社生産品目ではないが、欧州からのコンテナフレートと上昇に起因するラミナ価格の上昇に連動し製品価格も強含み傾向と聞く。RW集成平角；当社生産品目ではないが、欧州からのコンテナフレートと上昇に起因するラミナ価格の上昇に連動し製品価格も強含み傾向と聞く。また、製品の引き合い自体も非常に強い模様。米マツ集成平角；当社生産品目ではなく、MKTでも限られた需要しかないと考えられる。全体への影響は微小と考えられる。米ヒバ集成土台；はうやく年始からの値上げ交渉が妥結した。しかし、原料価格の上昇も急激で、製品の値上げが追い付いていない。今夏にもう一段階値上げの依頼をする予定。(以上、四国)